

磐城中正新報

發行日 毎月一日 十五日
 郵税共 一部 金 拾錢
 廣告料 普通欄十二字詰一行
 一回八十錢 場所指定
 同二十錢増
 印刷人 安澤榮作
 發行所 福島縣平町番城跡四
 磐城中正新報社

第三區七萬二千の

有権者を目指す

政民兩派の候補者

殊に石城郡の四萬が

猛烈なる争奪戦

第三區石城郡の有権者はかけても三千票以上の獲得一糸亂れぬ陣容を整へ磐城三萬九千八百六十五名に目を奮戦中である、一青年同盟と相呼應し各地に於て双相二郡の有権者三萬二千の政友派では木村候補の多轉戦し此れ又全力を傾注し千三百六十九名に比し七千の同志たる佐藤庄太郎氏言論戦の真最中で茲三四日四百九十六名の多數で双相が双相二郡を根據地として石城郡は四候補入り亂れて二郡を根據地とする候補者は出馬し出生地の關係上石城一大混戦状態となり四候補勢ひ石城郡へ進出せざれば郡へ進出し來り捲土重來のとも殆んど樂觀を許されざ勝算六ヶ敷き事情あり従つ勢を以てて猛烈を開始し各も比較的安閑内にあるて民政公認の氏家派では比地に言論戦と文書戦を一氣は比佐、氏家の兩候補で木佐派の地盤協定の申込みを開始し其の勢侮るべから村、佐藤の兩候補は今一段應せず石城民政部會の分裂ざるものがあるが木村派はの努力を要するものと觀らる好機とし分裂派の頭目野崎、漆畑兩氏及其の一派が死力を盡して應援し各所に奮戦せる爲め野崎、萩原兩氏間の反目益々猛烈となり政敵以上に睨み合つて居るが比佐氏の地盤は鞏固で同政友、民政兩派共言論文書第一次の總選舉に立つた候氏の地元湯本町の少壯連をの兩戦に於て互に國民生活補者の戦跡を見るに始め熱と血を以てて戦つての安定、不景氣逐ひ拂ひの二五、九六一民比佐昌平あるので、大した痛手とは目派の有難味を布演して一五、三三九政木村、清治ならずとは云ふも今後の形あるが来る二十日の選舉に二三、三三四政松本孫右衛門勢如何に依つては餘り樂觀第三區の四候補中榮冠を二、〇八三民氏家、清を許されまひと見られての獲る三名は果して唯か試み一、三九五中佐川、潔

普選第二次の

總選舉よ第二區の

投票はどうか動くか

以上如くであつたが其の當時は政友内閣であつたに反し今回の選舉は民政内閣の下に行はる、事として右の勢力分野に如何なる變化を招來するか多大の注目を惹いてゐる

小川郷 吉岡獨歩
 小川地方言論皮切
 一石に描く波紋や春の水
 木村候補の獅子吼
 民衆に氣を吐く春の燭赤
 鈴木縣議の應援振り
 春の夜や熱血燃ゆる數萬
 途上所見
 立看板に春寒の雨肅條と
 千篇一律の選舉郵便
 松とれて張合のなき御慶
 かな
 こ、暫く言論戦酣
 大風の入り亂れては喰る
 敵も味方も大童
 出代りは一と夜も十夜の
 思ひなる
 勝か敗か知るは神のみ
 中原の鹿は誰が手に弓始
 め

徒食運動員 何時の
 選舉にも徒食運動員と云ふ

連中が多いが就中今回の選舉所では無下に断れば悪言
 舉には不景氣の故か一層多傳の恐れがあり左りとて其
 く中食、夕食の時間になるの儘にしてあれば選舉費用
 と刻々其の數を増し賄方が嵩むので進退兩難の事務
 豫算した以上の連中が押し所が平南町に二二ヶ所ある
 掛けるので賄方は閉口し事と

飯田氏永年の

宿志成就して

民衆的娛樂場開始

其のも床しき聚樂園

平町一丁目劇場聚樂園の經の香新しきと其の居心地の
 營者として其名東北地方に好きとは茲に喋々するまで
 隠れなき飯田氏は永年平町もない、尙同樂湯の主治効
 に經濟に家族的に時代に添 能は神經痛、リウマチス、
 ふ園遊地娛樂場のなきを非胃腸病、貧血性諸病、榮養
 常に遺憾とし種々考究中の 不良、婦人病、腦病其他病
 所幸ひ城山方面へ水道の敷 後快復期等に特効があるの
 設を見しを好期とし自己の 後快復期等に特効があるの
 所有地たる舊城跡二番地へ 遊者日々殺到し大繁昌を極
 鐘撞堂の西に娛樂場につめ 遊者日々殺到し大繁昌を極
 さはしき清楚閑雅な一棟を 遊者日々殺到し大繁昌を極
 新築し遊園地を設け且つ同 遊者日々殺到し大繁昌を極
 氏が日露の役に負傷の際陸 遊者日々殺到し大繁昌を極
 軍指定療養所として有名な 遊者日々殺到し大繁昌を極
 の北海道登別温泉に療養し 遊者日々殺到し大繁昌を極
 て効顯著かりし同温泉の 遊者日々殺到し大繁昌を極
 湯花を東北一手販賣を引受 遊者日々殺到し大繁昌を極
 け樂湯の設備をなし來園者 遊者日々殺到し大繁昌を極
 には入浴を開放し基、將棋 遊者日々殺到し大繁昌を極
 其他書籍等も豊富に取り揃 遊者日々殺到し大繁昌を極
 へ一日の清遊には席料と茶 遊者日々殺到し大繁昌を極
 代で二十五錢、飲食物は各 遊者日々殺到し大繁昌を極
 自持參勝手次第と云ふ理想 遊者日々殺到し大繁昌を極
 的の娛樂場である、其の上 遊者日々殺到し大繁昌を極
 同所は空氣清浄にして中町 遊者日々殺到し大繁昌を極
 を一瞬に眺め遠く飯野の諸 遊者日々殺到し大繁昌を極
 山を仰ぎ得る又交通は至極 遊者日々殺到し大繁昌を極
 便利で自動車は浴場の隣り 遊者日々殺到し大繁昌を極
 まで通ずると云ふ地方には 遊者日々殺到し大繁昌を極
 珍しき便利な所である客問 遊者日々殺到し大繁昌を極
 の木のと觀測されてゐる

第三區の

當選圏内は

壹萬五千以上か

中町書記渡邊太次郎氏は多
 年統計事務に従事し熱心能
 く其改善發達を圖りし功勞
 により小柳知事より表彰さ
 れ

上下小川村長に
 草野定藏氏當選

本郡上下小川組合村では前
 村長國井義氏辭任以來村長
 推舉の協議會を開くこと七
 回頗る難産であつたが去る
 八日村會を招集し選舉の結
 果草野定藏氏當選就任した

開票と選舉會

當落の判明は

廿二日午後六時頃

本縣下の開票と選舉會期日
 は去る十二日開票管理會の
 會合を開き各開票區の開票
 日並に選舉會の日取りを決
 定したが各開票區の開票は
 廿一、廿二の兩日午前八時
 より開始し當落の判明する
 るは早くも午後六時頃であ
 らう、尙選舉會は廿三四日
 兩日に行ふ然して第三區の
 分は左の如し

廿一日開票
 石城郡は平、下小川、補
 田、相馬郡は中村
 廿二日開票
 双葉郡は浪江
 相馬郡は原ノ町
 廿三日選舉會石城郡中町
 立第一小學校に於て午前
 九時より開會

紀元節に

表彰されし

渡邊太次郎氏

中町書記渡邊太次郎氏は多
 年統計事務に従事し熱心能
 く其改善發達を圖りし功勞
 により小柳知事より表彰さ
 れ

上下小川村長に

草野定藏氏當選

本郡上下小川組合村では前
 村長國井義氏辭任以來村長
 推舉の協議會を開くこと七
 回頗る難産であつたが去る
 八日村會を招集し選舉の結
 果草野定藏氏當選就任した

野崎氏の助勢で氏家候補

は絶對安全石城郡から少

くとも三千票と比佐派の

打撃甚大

木村派は佐藤候補の石城
 進出で樂觀を許さず死力
 を盡して應戦中最後まで
 緊張奮闘せずんば悔ゆも
 及ばざらん

政、民兩派の政戦二旬に
 互り漸く審判の日近づく
 但し兩派とも最も勇敢に
 男性的に戦い

二十日の投票日も愈々近
 づいて來た棄權は國民の
 恥辱として清く正しき一
 票を自己の信する候補者
 に投せよ

全國的に見て民政更して
 初期の二百四十名以上を
 獲得するか政友解散前の
 頭數を喰ひ止むるか來る
 二十日が天下分け目の關
 ケ原

大勢既に定まると樂觀は
 大禁物眞の勝敗は最後の
 一日にあるを忘るべから
 ず

木村候補の選舉事務所で
 鹽屋の大旦那與三郎翁が
 選舉郵便の封筒書きを始
 めたので俄に活氣横溢し
 て來たと與三郎翁は矢張
 り徳の人である



告廣薦推

立憲政友會公認候補者

木村清治君

人格、手腕、識見、徳望の點に於て衆議院議員の適材と認め是に推薦し極力その當選を期す

石城政友部會

責任者 石城郡平町字三丁目三番地 山田忠太郎

推薦廣告

立憲政友會公認候補者

佐藤庄太郎君

政治生命の最後として敢然悲壯なる決心を以て奮起したる同君を茲に推薦し極力この當選を期す

石城郡平町二丁目三九

推薦者 谷口仁太郎

推薦廣告

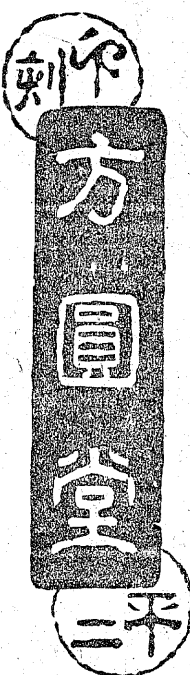
立憲民政黨公認候補者

比佐昌平君

志操健實にして人格手腕識見共に卓越せる同君を三度び議政壇上に送るは本縣の最大名譽として推薦し有權者各位の御同情に懇ふ

石城郡平町杉中二十番地

責任者 花 海 義 郎



良品廉賣に勝る商略なし

磐城平町五丁目

磐城セメント株式會社特約代理店

和洋銅鐵 釜屋商店

電話 九番 一三九番

振替貯金口座東京一〇九五六番

確實敏捷は久の生命なり

飲食物の用意無之に御付隨御意持參願上候

舊正月元日より娛樂場開始

廣告

私共の居住する平町には旅館、料理店、飲食店その他ありとあらゆる商店ありて、一として不自由を感ずること無之候も、附近に空氣清爽にして最も家族的に極く安値に一日を送るべき箇所なきを多年遺憾に思ひ居り候も其期を得ず打過ぎ候處高臺の城山方面へも水道を布設せられ候に付今回僅かばかりの持地へ狹かなる家を新築いたし小遊園地を設け候、同所は平町を眼下に眺め、天然の森林を有し、空氣もよろしく候間御家族御同伴御來遊被下度基、將棋の娛樂物、書籍等も多少備置き候、特に小生日露戰役の際負傷致し陸軍指定療養所北海道登別温泉にて治療を受け候同所の湯の花の東北一手販賣を引受け試験いたし居り候間御隨意御入浴願上候

ラヂユム旅館上

平町城山聚樂園

園主 飯田近治

一日席料茶代共 大人廿五錢 小人十錢

早朝より藥湯あり大弓場目下設計中